

2024年(令和6年)
2月1日 木曜日
第1937号

京都自動車新聞



2
5
6
8
8
京ト協 各支部新年会開始
整備 電子保適など4月値下げ
カローラ京都 ポッチャ大会開く
京整商 初のフィリピン実習生配属
◀近運局が若手メカとの車座対話

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205 メール access@kyotojidoshanp.jp

E.V.発展をサポート 京都先端大 技術開発・人材育成新施設



技術開

大学が持つ知見を 広く社会に伝える

「世間から縁遠いイメージのある大学を、もっと社会へ広げていきたい。大学で蓄えているさまざまな知見をオープンにしていく」。鶴田氏はOICKの開設の意図をこう話す。

術教育ができる実装・実習棟(II写真⑤)、屋外試験路を整備。ほかに農業に関する研究施設や、異分野の人材が交流できるオープンインベシジョン推進棟など、大学と社会をつなぐさまざまな拠点施設が設けられている。

E.V.シフトに備え 教育活動と技術開発

自動車産業関連の労働者は全国で500万人を超えるとされている。E.V.シフトが進めば、これまでの自動車業界の産業構造は大きく変わらざるをえない。鶴田氏は「企業や事業所の規模によっても危機感が異なるのが

現状だ。しかし、危機意識を持っていても、肝心のE.V.に関して網羅的な教育活動を行っている場所はほとんどない」と指摘する。

OICKはリカレント教育に携わる人材に専門の研究者はもちろん、経済学者や民間企業経験者、自動車メーカーで社内教育を手がけていた人物など多彩な人材を積極的に登用し、全般的な教育ができるカリキュラム作成に取り組んでいる。

京都先端科学大学では研究面にも力を入れ、半導体研究でエリソン賞を獲得した松波弘之氏を特任教授で招いたり、国際的な学会から表彰された海外の研究者を登用したりして、E.V.に関するノウハウを蓄積。そうした見聞もリカレント教育のカリキュラムに取り込み、最先端の研究を教える環境を整えている。

「さまざまな実証試験ができるので京阪神から新たな技術の潮流を生み出し、社会にアピールしていきたい」と鶴田氏は意気込む。

◆◆◆◆◆
鶴田 靖人(つるた・やすと)

ニューヨーク大学経営学修士を修了。野村證券やUBS証券でマネージング・ディレクター、クレディスイス証券マネージャー・ディレクター、東京大学渉外本部ディレクターなどを歴経、2019年からK.U.A.S.学長室長に就任。特任教授を兼務する。

京都先端科学大学(K.U.A.S.)、永守重信理事長、前田正史学長)が亀岡市、亀岡市商工会議所との産学連携により2023年5月に亀岡市に開所した技術開発や人材育成をサポートする「オープンインベシジョンセンター・亀岡」(OICK)が、近畿圏の自動車関連企業からの注目を集めている。電気自動車(E.V.)などの先端技術に特化した人材・設備を配備し、実験やリカレント教育(社会人の学びなおし)の場として期待が高まっている。今後は自動車整備士向けのE.V.講習も予定。活動の幅が広がる同センターについて、同大学の社会連携支援室室長の鶴田靖人氏に話を聞いた。

現状だ。しかし、危機意識を持っていても、肝心のE.V.に関して網羅的な教育活動を行っている場所はほとんどない」と指摘する。

「さまざまな実証試験ができるので京阪神から新たな技術の潮流を生み出し、社会にアピールしていきたい」と鶴田氏は意気込む。

◆◆◆◆◆
鶴田 靖人(つるた・やすと)

ニューヨーク大学経営学修士を修了。野村證券やUBS証券でマネージング・ディレクター、クレディスイス証券マネージャー・ディレクター、東京大学渉外本部ディレクターなどを歴経、2019年からK.U.A.S.学長室長に就任。特任教授を兼務する。

追跡 データベース — 東京商工リサーチ編 —

倒産数、前年件数超え

10月 コロナ破綻は一進一退

10月の負債額10001万円の企業が発表された。総数のうち、倒産した件数は、前年同月比33.0%増の793件と19カ月連続で前年を上回った。今年1〜10月の累計倒産件数は7073件に達し、前年の年間件数(6428件)を超える。京都に限った倒産件数は26件。東京商工リサーチが発表した。

産業	倒産件数	
	10月	前年同月比(増率)
農・林・漁・鉱業	11	175.0%
建設業	164	76.3%
製造業	103	27.1%
卸売業	89	17.1%
小売業	81	1.2%
金融・保険業	2	
不動産業	27	35.0%
運輸業	34	17.2%
情報通信業	27	35.0%
サービス業ほか	255	32.1%
合計	793	33.0%

多で推移し、14カ月連続で前年同月を上回った。うち京都は194件。コロナ破綻のトレンドは22年から一気に強まり、23年もその傾向は続く。3月に月別最多を記録。今月は259件と若干の落ち着きを見せたが、予断を許さな

い。業種別では飲食業が突出し、以降に建設業やアパレル製造・販売、飲食料品卸売業、宿泊業、貨物自動車運送業など続く。

分析では、コロナ関連融資の返済資金が用意できず、事業継続を断念するケースが相次いでいる。人手不足や資材高騰の深刻さも増してきている。客足は戻っても売り上げの回復には至らず、企業の経営体力の消耗などが引き金となってしまう事例も多い。

整備士向け講習も 関西企業と連携へ

OICKでのリカレント教育は、24年4月にさらなる拡大を目指す。新たに整備士向けの講座を開学し、幅広い人々へ門戸を開いていく。

「整備工場は人手不足や事業承継など、課題を抱えている企業も多い。これからの時代を生き残るためにも、時流の変化を学べる場として生かしてほしい」と訴える。

地域創生もE.V.カレッジが掲げる大きなミッションの一つ。

豊富なラインナップ

Japan venture HITACHI Inspire the Next TOOLPLANET TECHNOLOGY AUTEL LAUNCH G-SCAN

DT-3300 HDM-9000 Diagnostic Tool TPM-3 MaxiSys Ultra X-431 PAD VII G-SCAN | 2 Tab

株式会社大黒商会 DAIKOKUSHOKAI 本社 京都市右京区西院平町10番地 TEL: 075-311-0141 営業所 京都・南・亀岡・舞鶴・福知山・福井・小松・金沢・奈良・彦根